
巻頭言

順天堂大学保健看護学部 順天堂保健看護研究 6
P.1 (2018)

巻 頭 言



順天堂大学保健看護学部 学部長

大 熊 泰 之

順天堂保健看護研究第6巻をお届けします。

早いもので昨年4月に保健看護学部長に就任してから1年が経とうとしています。時の流れの速さに驚かされますが、幸い皆様の多大なご協力を得て本学部での仕事をスタートできました。今後ともよろしく願いいたします。

さて、保健看護学部は平成22年に開学し、本誌は平成24年に創刊されました。以後年に1巻の割で刊行され、いずれの巻においても研究論文、各種実践報告などの力作が掲載されてきました。

本誌の役割として最も重要なのは、本学部（あるいは他施設）における教育実践・研究の成果を発表することです。とくに学会誌・専門誌への掲載を狙うと時間がかかって時期を逸してしまいそうな場合には有用です。論文発表することで研究テーマや手法の共通理解の場が生まれ、学内外で共同研究の輪が広がることが期待出来ます。科学研究費など外部資金獲得にも共同研究は欠かせません。また、OSCE、FD研修会、公開講座やセミナーなどの実践報告や学内活動報告も重要で、本誌を通覧することにより学部の研究・教育の歴史をたどることができれば理想的です。タイムリーな総説も歓迎されます。昨年度、初めて英文の総説が2報掲載されました。このように本誌は少しずつ

進化していますが、とにかく実践内容を出来るだけ詳しく書いて残しておくことが大切です。

昨今電子ジャーナル化が進み、紙媒体の雑誌が少なくなってきました。本誌もちろんインターネットで読むことができます。しかし私個人としては冊子体も残していただきたいと思っています。理由の1つは、私を筆頭として未だ紙媒体のほうが読んで頭に入りやすい人がいるということです。2つ目は本誌を関係者に配布する際、やはり雑誌そのものを送った方が読んでいただける可能性が高いと思われるからです。私も学部長になってさまざまな施設から紀要や年報を送っていただく立場になりました。最近では「内容は下記URLを参照して下さい」という手紙を貰うこともありますが、やはりすぐ手にとって読めるのが一番と感じています。

今後も本誌をぜひ活用していただきたいと思います。